

令和5年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	古典舞踊育成会「飯田まい珠」による伝統文化の育成	
事業主体 (連絡先)	小京都飯田伝統文化育成会	
事業区分	(3)教育、文化の振興に関する事業	
事業タイプ	ソフト・ハード	
総事業費	5,052,683 円	(うち支援金: 3,996,000 円)

事業内容

- ①「小京都飯田」の培ってきた歴史ある伝統文化の後継者育成としての若い世代への伝承(旧割烹舞鶴での古典舞踊・邦楽の継続稽古)
- ② 継続した伝承のための環境整備として稽古場と古典舞踊・邦楽・音響機器の備品の整備
- ③ 体験会・発表会を通しての伝統文化の情報発信と気軽に触れることによる底辺拡大
- ④ 祭りやイベントへの参加、チラシ・ポスター、マスコミを通じた事業PR



【旧割烹舞鶴での三味線舞踊発表会】

【目標・ねらい】

- ① 継続した伝承のための稽古場・古典舞踊・邦楽・音響機器の備品
- ② 生徒の募集と継続した稽古による指導育成
- ③ 体験会・発表会への参加を通じ伝統文化に触れる機会創出と事業PR

事業効果

- ① 継続した伝承のための環境整備として稽古場と古典舞踊・邦楽・音響機器の備品の整備は、事業の進捗状況や生徒のレベルにより、小鼓等の見送ったものを除き、計画したものができた。特に、所作台は、舞踊の稽古や発表会には必要不可欠のものとして効果が大きい。
- ② 伝統文化の後継者育成としての若い世代への伝承は、生徒募集から始まり、講師と生徒の日程調整を含め、継続した稽古により舞踊5人、邦楽(三味線)7人へ発表会での披露、修了証の交付ができるレベルまで到達することができた。
- ③ 練習成果の発表会を12月と2月の2回設定することにより、生徒の練習、講師による指導もより真剣なものとなり、効果的であった。

※自己評価【B】

【理由】

- ① 定期的な稽古による地域内での実力ある指導者による生徒指導であっても、後継者育成は極めて困難な事業である。
- ② 小学生等への指導育成は全体の進捗から取り止めとし課題となった。

今後の取り組み

- ① 環境整備として稽古場と古典舞踊・邦楽・音響機器の備品の整備により、練習場と発表会が定期的に行える場ができ、伝統文化の継続した伝承のための大きな基礎ができたので、これを大いに活用していく。
- ② 邦楽の三味線等の備品整備ができたので、今後も、新しい生徒への稽古に対応していく。
- ③ 伝統文化に触れる機会をより高めるために、当地域内で定期開催されている南信州獅子舞フェスティバルと同時開催で、獅子舞の演目を創作し、披露していく。
- ④ 「小京都飯田」として培ってきた伝統文化について、各地域での祭りやイベントへの参加し、継続した稽古による人材育成の成果発表、練習成果の発表、事業のPRしていく。